

圏域の 重点取組	現状及び課題	課題への対応のために 想定される取組	R4年度における取組状況	R5年度における取組状況及び予定
<p>(1)生活習慣病</p>	<p>○ 生活習慣病（がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病など）の予防のための生活習慣の改善に向けた取組を推進することが必要です。</p> <p>○ 本県の脳血管疾患による年齢調整死亡率（人口10万対、平成27年）は減少傾向にありますが、当圏域（43.0）では全国平均（28.7）と県平均（39.6）よりも高い状況にあり、生活習慣の改善に向けた取組を引き続き推進することが必要です。</p> <p>○ 糖尿病とその合併症は治療に時間がかかるため、かかりつけ医又はかかりつけ歯科医による継続的な疾病管理を行うとともに、慢性合併症の早期発見、治療及び重症化予防につなげるため、関係医療機関が連携して対処することが必要です。</p> <p>○ 働き盛り年代では「特定健康診査・特定保健指導」への積極的な参加と生活習慣の改善が必要であり、事業</p>	<p>○ 医療関係機関及び行政機関は、事業所や地域住民を対象とした生活習慣病予防のための出前講座、研修会、健康経営セミナー又は健康講座等を開催し、生活習慣の改善などに関する普及啓発活動を推進します。</p> <p>○ 保健所は、地域における生活習慣病対策に係る課題を共有し対応を協議するため、両磐地域・職域連携推進協議会を開催します。</p> <p>○ 医療関係機関及び行政は、介護予防サービス事業者等と協力し、患者（利用者）の医学的管理の継続と併せ、重症化予防のための取組を促進します。</p> <p>○ 保健所は、市、町と連携し、特定給食施設等への塩分等栄養管理基準適合の定着に向けた指導の強化を図ります。</p> <p>○ 医療関係機関及び行政機関は、飲食店などの事業所とともに、減塩の普及と禁煙・分煙の取組を促進します。</p> <p>○ 医療関係機関及び行政機関は、健康診断やがん検診の受診勧奨、検診後の医療機関等受診による早期発見・治療の促進、特定健康診査を受診しやすい環境整備、特定保健指導の充実を図ります。</p> <p>○ 医療関係機関及び行政機関は、</p>	<p>【医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 産業保健センター事業 ○ 健康診断やがん検診の受診勧奨、その後の治療促進、受診しやすい環境整備 ○ 医師講演会への医師派遣 ○ 学校医として学校保健活動 ○ 関係機関会議への出席 ○ 地域住民向けに生活習慣の改善などに関する普及啓発活動 <hr/> <p>【歯科医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自治体や保健所の講習会により、生活習慣病と歯科との関わりについて啓蒙 ○ 日本糖尿病協会歯科医師登録医として会員研修 ○ 学校歯科医として学童生徒への講話 ○ オーラルフレイル予防への推進 ○ 成人歯科健診、妊婦歯科健診、事業所歯科健診への協力 ○ いちのせき健康スポーツフェア・障がい者福祉まつり、一関市の広報を通じた啓蒙（いちのせき健康スポーツフェア・障がい者福祉まつりは開催中止） ○ 歯の健康展講演会「健口のためのフッ化物応用法について」を開催し、普及啓発活動を推進（講師：二戸保健所長 森谷俊樹先生） <hr/> <p>【薬剤師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳卒中対策 脳血管疾患による年齢調整死亡率は両磐地域がより高い状況である。生活習慣病、運動療法について保険薬局を中心に服薬指導時に啓蒙活動を行う。 ○ 一関市主催の健康教育講演会の講師として参加者へ啓蒙する。 <hr/> <p>【看護協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護の日イベント 12月3日に磐井病院でグッズを配布した。（乳幼児コロナワクチン接種後） ○ 地域住民の健康相談 1) 一関市民フェスタ 22 新型コロナウイルス感染防止のため参加中止 2) 健康福祉まつり 2022 新型コロナウイルス感染防止のため参加中止 	<p>【医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療関係者向け研修会の開催 ○ 産業保健センター事業 ○ 地域住民向けに生活習慣の改善などに関する普及啓発活動 ○ 健康診断やがん検診の受診勧奨、その後の治療促進、受診しやすい環境整備 ○ 学校医研修会の開催 ○ 学校医として学校保健活動 ○ 医師講演会への医師派遣 ○ 関係機関会議への出席 <hr/> <p>【歯科医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記活動の継続推進 ○ 学術講演会「生活習慣病と歯科疾患の関係」を開催し、普及啓発活動を推進（講師：岩手医科大学内科学講座教授 石垣泰先生） <hr/> <p>【薬剤師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳卒中対策 脳血管疾患による年齢調整死亡率は両磐地域がより高い状況である。生活習慣病、運動療法について保険薬局を中心に服薬指導時に啓蒙活動を行う。 ○ 一関市主催の健康教育講演会の講師として参加者へ啓蒙する。 ○ 「みんなの薬の学校」の講師派遣を行い、その中で生活習慣病の改善について参加者へ啓蒙する。 <hr/> <p>【看護協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○看護の日イベント イオンスーパーセンターにてR5年5月13日に実施した。 正しい手指消毒のリーフレットとグッズの配布、健康相談を行った。 ○地域住民の健康相談 1) キッズフェスタ 2) 一関健康スポーツフェア

圏域の 重点取組	現状及び課題	課題への対応のために 想定される取組	R4年度における取組状況	R5年度における取組状況及び予定																			
	<p>所の特定健康診査等への理解と協力が重要で す。また、特定健康診査 後の精密検査や医療機 関の未受診者に受診を 促すことが必要です。</p> <p>○ 運動習慣がある者の 割合は、県、当圏域とも に減少しているため、 運動習慣の定着を促す ことが必要です。</p> <p>○ 学校保健統計による と、本県では肥満傾向 児の出現率が全国平均 を上回ることから、若 年期からの肥満対策を 含めた生活習慣病予防 対策を推進することが 必要です。</p>	<p>セミナー等により禁煙や受動喫煙 防止等に関する普及啓発活動を推 進します。</p> <p>○ 行政機関は、子どもと保護者等 を対象とした若年期からの肥満予 防に係る健康講話等により、生活 習慣病予防に係る知識の普及啓発 を図ります。</p>	<p>【一関市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣病予防 生活習慣病予防のため、各種検診及び健康相談・健康教育等を実施した。 ・集団検診については、検診会場への入場者数の制限や換気、消毒を行うなど感染対策を 講じながら全日程実施した。 ・特定健診、がん検診の受診率向上に向けた取組として、特定健診対象者全員に受診票を 送付し、40歳、50歳にはがん検診の受診票を送付し受診勧奨を行った。さらに、未受 診者には、コール・リコール（再通知）を実施した。 ・医師、薬剤師、保健師等による健康教育 296回 参加者延べ4,609人 ・健康相談（所内相談、電話相談、地区健康相談等） 延べ2,941人 ・食生活改善普及講習会 110回 参加者延べ1,315人 ・健康いちのせき21マイレージ事業 特典交換者数 1,769人 ○ 生活習慣病の重症化予防 ・特定保健指導 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>動機付け支援</td><td>120人</td></tr> <tr><td>積極的支援</td><td>22人</td></tr> </table> ・特定健診及び基本健診結果における要医療者への受診勧奨・受診確認 404人 ・糖尿病等生活習慣病治療中断者疑い者への受診勧奨（文書指導） 60人 ・特定健診における「腎症3期」該当かつ医療機関未受診者への訪問指導等 5人 ○ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ・家庭訪問等（ハイリスクアプローチ） <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>糖尿病性腎症重症化予防</td><td>36人</td></tr> <tr><td>重複投薬防止</td><td>12人</td></tr> </table> ・通いの場等での健康教育（ポピュレーションアプローチ） <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>糖尿病予防</td><td>99回</td><td>1,104人</td></tr> <tr><td>薬剤師による適正服薬促進</td><td>16回</td><td>191人</td></tr> </table> <hr style="border-top: 1px dashed #000;"/> <p>【平泉町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康づくり推進協議会の開催（年1回） ○ 令和4年度健康ひらいずみ21計画（第2次）の重点項目を「次世代の健康」と定め取 り組みを行った。 ・幼児施設での食育指導開催4回 参加者数：延べ157人 ・幼稚園、保育所における子どもの健やかな発育をめざし、よりよい給食を提供するこ とを目的に給食検討会開催12回（参集者：幼児施設2か所の調理員、町管理栄養士） ・次世代の健康をテーマに健康教育を実施8回 参加者数：延べ159人 <p>《がん》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診、特定健康診査等の土、日実施や未受診者のために追加検診実施。また新型コ ロonavirus感染症対策の一環として保健センター内を土足仕様とし、動線の一通化など 受診しやすい環境整備を行った。 ○ がん検診の節目無料対象者を20～60歳の5歳刻み年齢を節目無料対象者として実施。 ○ がん検診の要精密検査対象者への受診勧奨の実施 ○ 検診未受診者への受診再勧奨の実施 ○ 「健幸ポイント事業」を実施し、がん検診等の受診を促す。 10ポイント達成者 192人 20ポイント達成者 26人 ○ がん患者医療用補正具購入費助成金交付事業実施。（申請件数 2件） 	動機付け支援	120人	積極的支援	22人	糖尿病性腎症重症化予防	36人	重複投薬防止	12人	糖尿病予防	99回	1,104人	薬剤師による適正服薬促進	16回	191人	<p>【一関市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣病予防 健康いちのせき21計画（第二次）に基づき次の事業を実施する。 ・各種健康教育・健康相談 ・食生活改善推進事業 ・各種がん検診、特定健診 ・健康いちのせき21マイレージ事業による市民の主体的な健康づくりの取組推進 ○ 生活習慣病の重症化予防 ・特定保健指導 ・健診の結果、要医療者への受診勧奨・受診確認 ・健診、医療、介護のデータから生活習慣病（糖尿病性腎 症含む）の重症化リスクの高い人を抽出し、家庭訪問等により保健指導を行う。 ○ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ・家庭訪問等（ハイリスクアプローチ） <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>糖尿病性腎症重症化予防</td></tr> <tr><td>オーラルフレイル予防</td></tr> <tr><td>重複投薬防止</td></tr> </table> ・通いの場等での健康教育（ポピュレーションアプローチ） <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>糖尿病予防</td></tr> <tr><td>オーラルフレイル予防</td></tr> </table> <p>薬剤師による適正服薬促進</p> <hr style="border-top: 1px dashed #000;"/> <p>【平泉町】</p> <p>《がん検診等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診、特定健康診査の各種検診の受診勧奨 ○ 特定健康診査と肺がん検診、前立腺がん検診の同時実施。 ○ がん検診、特定健康診査等の土、日実施や未受診者のために追加検診実施 ○ がん検診等の受診を促すため、20～60歳の5歳刻みの年齢を節目無料対象者とし個人 負担金を無料にして実施。 ○ がん検診の要精密検査対象者への受診勧奨の実施 ○ 検診未受診者への受診再勧奨の実施 ○ 「健幸ポイント事業」を継続実施し、がん検診の受診を促す。 ○ がん患者医療用補正具購入費助成金交付事業を継続して実施。 <p>《生活習慣病予防事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定健康診査の実施。（集団健診、個別健診） ○ 特定健康診査等事後指導会の開催。 ○ 特定保健指導、生活改善のための健康教室を開催。 ○ 国民健康保険担当課と連携し、特定健康診査、保健指導、糖尿病性腎症重症化予防事 業、健診未受診者対策などの事業を実施 <p>《健康ひらいずみ21計画（第2次）の重点項目事業》</p>	糖尿病性腎症重症化予防	オーラルフレイル予防	重複投薬防止	糖尿病予防	オーラルフレイル予防
動機付け支援	120人																						
積極的支援	22人																						
糖尿病性腎症重症化予防	36人																						
重複投薬防止	12人																						
糖尿病予防	99回	1,104人																					
薬剤師による適正服薬促進	16回	191人																					
糖尿病性腎症重症化予防																							
オーラルフレイル予防																							
重複投薬防止																							
糖尿病予防																							
オーラルフレイル予防																							

圏域の 重点取組	現状及び課題	課題への対応のために 想定される取組	R4年度における取組状況	R5年度における取組状況及び予定
			<p>《生活習慣病予防》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定健康診査の実施。受診者数 732 人（町集団、人間ドック、個別含み） ○ 特定保健指導の実施。実施者数：動機付け支援 9 人、積極的支援 1 人 ○ 特定健康診査等事後指導会 参加者数：35 人 ○ 生活習慣病予防教室（できることからはじめよう教室）参加者数：延べ 32 人 ○ 国保担当課と連携し、糖尿病性腎症重症化予防の保健指導に取り組んだ。（委託事業）実施者数：5 人 <hr/> <p>【保健所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域・職域連携推進協議会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○ 健康いわて 21 プラン地域説明会 1 回、31 人 ○ 脳卒中予防事業 <ul style="list-style-type: none"> ・街頭キャンペーン 1 回、200 人 ・出前講座 中止 ・減塩リーダー養成講習会 1 回、30 人 ○ 特定給食施設に対する栄養改善指導 <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導 8 施設 ○ 受動喫煙対策推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・管理者等説明会 8 回、60 名 ・事業所出前講座 中止 ・個別相談、指導 0 件 ・訪問指導 0 件 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康ひらいずみ 21 計画（第 2 次）の重点項目を「栄養・食生活」と定め取り組みを行う。 ○ 食生活改善推進員養成のための「保健栄養教室」を開催。 ○ 食生活改善推進協議会の活動支援。 ○ 幼児施設での食育指導の実施。 ○ 給食検討会の実施。 ○ 健康ひらいずみ 21 計画（第 3 次）の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進協議会の開催（2 回 計画策定委員会含み） <hr/> <p>【保健所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域・職域連携推進協議会 年 2 回 ○ 健康いわて 21 プラン地域説明会 年 2 回 ○ 脳卒中予防事業 <ul style="list-style-type: none"> ・いわて減塩適塩の日促進事業 街頭キャンペーン 年 2 回 スーパーマーケットでの普及啓発 4 店舗 ・出前講座（随時対応） ・減塩リーダー養成講習会 年 1 回 ・健康的な食事推進リーダー育成研修会 年 2 回 ○ 特定給食施設に対する栄養改善指導 <ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導（随時対応） ・集団指導 年 2 回 ○ 受動喫煙対策推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・管理者説明会 年 7 回 ・事業所出前講座（随時対応） ・個別相談、指導（随時対応） ・訪問指導（随時対応）
(2)心の健康 づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心の病気や精神科受診については、正しい知識の普及と併せて相談窓口を周知することが必要です。また、早期発見から外部の支援または治療につなげたり、多様な問題を抱える当事者とその家族を支援するため、医療関係機関、保健所、市、町等が課題や支援方針の共有などについて理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政機関は、働き盛り世代を中心に地域住民を対象とした健康講座などを通じて、心の健康づくりに関する正しい理解と、相談窓口や受診方法について普及啓発を行います。 ○ 保健所は、関係団体、職種間の連携の強化及び人材育成のため、地域ネットワーク会議、実務者連絡会議及び支援者向け研修会等を開催します。 ○ 行政機関は、「ゲートキーパー」 	<p>【医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 産業保健センター事業 ○ 警察署等の関係機関とのネットワーク体制づくり ○ 関係機関会議への出席 <hr/> <p>【歯科医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平泉町自死対策推進連絡会議への参加 ○ 一関市自死対策推進連絡会議への参加 ○ 一関地域自死対策推進連絡会議への参加 ○ ポスターおよびリーフレットによる会員への周知 	<p>【医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療関係者向け研修会の開催 ○ 産業保健センター事業 ○ 警察署等の関係機関とのネットワーク体制づくり ○ 関係機関会議への出席 <hr/> <p>【歯科医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記活動の継続推進

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R4年度における取組状況	R5年度における取組状況及び予定
	<p>を深めることが必要です。</p> <p>○ 当圏域の自殺者数及び自殺死亡率（人口10万対21.7、平成28年）は減少の傾向にありますが、全国（16.8）及び県（22.8）を上回る状況が続いています。自殺の原因動機別では「健康問題」と「家庭問題」が多く、性別では男性の占める割合が高く、年代別では男性が働き盛り年代に、女性は高齢者に多いことから、自殺リスクの高い人に応じた自死対策の取組を進めることが必要です。</p> <p>○ 精神科病院や施設から出て地域での生活を希望する障がい者等が、円滑に地域生活に移行できるように、支援者側の人材を育成する必要があります。</p> <p>○ 緊急な医療を必要とする精神障がい者が、迅速かつ適正な医療を受けられるよう、精神科救急医療体制づくりを推進することが必要です。</p>	<p>の養成等により、地域や職場で悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげ見守る体制づくりを推進します。</p> <p>○ 行政機関は、医療関係機関及び事業所等と連携して自殺リスクの高い人を早期に発見し、必要な支援につなげるための取組を推進します。</p> <p>○ 医療機関、保健所及び警察署等の関係機関が連携し、精神科救急医療体制づくりを推進します。</p> <p>○ 医療福祉機関及び行政機関等が連携し、精神障がい者の地域移行及び地域定着を支援するとともに、地域で安心して生活ができるよう、障がいの理解の促進や地域の受入環境の整備、就労支援などを推進します。</p>	<p>【薬剤師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自殺対策を担う人材の養成研修会を開催（web研修）しゲートキーパーを増やしていく。（R4.11.16研修会実施） ○ 自殺リスクの高い人を保険薬局など患者服薬指導により早期に発見し対応を行う。 ○ 一関市自死対策推進協議会参加 ○ 一関地域自死対策推進連絡会議参加 <hr/> <p>【看護協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一関支部主催での研修会実施 日時：令和4年7月9日（土）14：00～ メンタルヘルス「こころと体を楽にするヘルスケア」 <hr/> <p>【一関市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自死対策推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくり講演会 2回 参加者91人 ・メンタルチェックシステム「こころの体温計」 アクセス数13,249件 ・公認心理師による市民こころの健康相談 48回 76人 ・ゲートキーパー養成講座 19回 576人 ・産後うつスクリーニング 440人 ・高齢者うつ訪問 36人 ○ 精神保健事業 <ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者の社会参加訓練（ふれあい会、ディケア） 115回 参加者延べ456人 ・ひきこもり・精神障がいに関する学習会 1回 26人 ・精神保健福祉ボランティア・傾聴ボランティア活動支援研修会 1回 16人 <hr/> <p>【平泉町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅の精神障がい者の自立と社会参加を促すため、ふれあい会を実施。（12回）参加者数：延べ70人（当事者57人、ボランティア13人） ○ 公認心理師によるこころの健康相談会開7回 相談者延10人 ○ 保健師による随時相談 延べ62件 ○ ゲートキーパー養成開催5回 養成数93人 ○ 傾聴ボランティアによる傾聴活動（認知症カフェ10回） ○ うつスクリーニングの実施378人（ヤング健診、子宮頸がん検診受診者351人、産後うつスクリーニング27人） ○ 障がい者理解の促進とこころの健康づくりを目的に、ひらいずみココロフェスタを開催1回 参加者40人 ○ 成人式での普及啓発（8月、1月） ○ 思春期事業での普及啓発資料の配布 ○ 自殺対策強化月間（9月、3月）に合わせた取り組み 	<p>【薬剤師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自殺対策を担う人材の養成研修会を開催（web研修）しゲートキーパーを増やしていく。 ○ 自殺リスクの高い人を保険薬局など患者服薬指導により早期に発見し対応を行う。 ○ 一関市自死対策推進協議会参加 ○ 一関地域自死対策推進連絡会議参加 ○ 自殺予防週間、自殺対策強化月間においてポスター配布及び保険薬局等に掲示を行う。 <hr/> <p>【看護協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一関支部主催での研修会実施 日時：令和5年8月26日（土）14：00～ 人と暮らしに出会う「聞き書き」 <hr/> <p>【一関市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自死対策推進事業 左記の事業に加え、一関市自死対策推進計画（平成31年度～令和5年度）に基づき、庁内の自死対策の取組を推進する。 取組を振り返り、令和6年度から令和10年度を計画期間とする一関市自死対策推進計画を策定する。 ○ 精神保健事業 <ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者の社会参加訓練（ふれあい会、ディケア） ・ひきこもり・精神障がいに関する学習会 ・精神保健福祉ボランティア・傾聴ボランティア活動支援研修会 <hr/> <p>【平泉町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅の精神障がい者の自立と社会参加を促すため、月1回ふれあい会を実施。 ○ 公認心理師によるこころの健康相談会開催（年6回） ○ 平泉町自死対策庁内連絡会議の開催（年1回） ○ 平泉町自殺対策推進会議の開催（年2回 第2次自死対策計画策定委員会も含む） ○ ゲートキーパー養成開催 ○ 傾聴ボランティアへの研修、傾聴活動支援の実施 ○ 若年者対策として成人式や思春期事業での普及啓発を行う。 ○ 自殺対策強化月間に合わせた取り組み ○ うつスクリーニングの実施（肝胆腎超音波検診受診者） ○ 障がい者理解の促進とこころの健康づくりを目的に、ひらいずみココロフェスタを開催

圏域の 重点取組	現状及び課題	課題への対応のために 想定される取組	R4年度における取組状況	R5年度における取組状況及び予定
			<ul style="list-style-type: none"> ○ 平泉町自殺対策推進会議（年1回） ○ 平泉町自死対策庁内連絡会議（年1回） <hr style="border-top: 1px dashed #000;"/> <p>【保健所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自殺予防月間、週間における取組み <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内横断幕及びポスター掲示・配布、一関地域電話相談窓口リーフレット配布 185箇所（9月、3月） ○ 「一関地域自死対策アクションプラン（H31～35年度）」の推進 ○ 自死対策推進連絡会議 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 ○ 自死とうつに関するケアネットワーク会議の開催 1回 31名 ○ こころの健康づくり事業担当者連絡会の開催 1回 14名 ○ こころのケアナース養成セミナー 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 ○ こころのケアナーススキルアップセミナー 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 ○ 事業所出前講座 8回（2回は資料配布のみ）480人（資料配布200人） ○ 事業所訪問 22箇所 ○ 精神科医による精神保健福祉相談 17件 ○ 保健師による相談 567件 ○ 自殺未遂者等精神科救急ケース関係者打合会 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催なし ○ 県南地域精神科救急医療体制連絡調整委員会 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催なし ○ 自死遺族交流会（こころサロン）の開催 1回、0人 ○ ひきこもり本人等居場所支援事業（フリースペースひだまり）11回、実8件、延28件 ○ ひきこもり個別相談 7回、実7件、延13件 	<p>【保健所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自殺予防月間、週間における取組み <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内横断幕及びポスター掲示・配布、一関地域電話相談窓口リーフレット配布（9月、3月）、普及啓発物品配布 ○ 「一関地域自死対策アクションプラン（H31～35年度）」の推進、評価 ○ 「次期一関地域自死対策アクションプラン（R6～R10年度）」の策定 ○ 自死対策推進連絡会議の開催 2回（12月、3月） ○ 自死とうつに関するケアネットワーク会議の開催（8/9開催予定） ○ こころの健康づくり事業担当者連絡会の開催（7/27開催予定） ○ 保健医療福祉関係者に対する研修会の開催（10月頃予定） ○ 傾聴ボランティアスキルアップ研修会（10/26開催予定） ○ 事業所向け出前講座の開催（随時対応） ○ 事業所訪問（9月～10月予定） ○ 精神科医による精神保健福祉相談（12回） ○ 保健師による相談（随時対応） ○ 自殺未遂者等精神科救急ケース関係者打合会の開催予定 ○ 県南地域精神科救急医療体制連絡調整委員会の開催予定 ○ 自死遺族交流会（こころサロン）の開催 5回 ○ ひきこもり本人等居場所支援事業（フリースペースひだまり）19回 ○ ひきこもり個別相談 6回
(3)医療体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療従事者の人材確保等が難しい状況にあります。 ○ 質が高く効率的な医療提供体制を構築するため、医療関係者等の協議を通じた自主的取組による地域医療構想を推進する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療関係機関、教育機関及び行政機関は、医療従事者の人材確保のためのセミナーの開催等により、人材確保などのための取組を推進します。 ○ 医療関係機関及び行政機関は、健康寿命の延伸のための医療体制づくりや健康づくり等の取組を推進します。 ○ 保健所は、地域医療について協 	<p>【医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護学校運営 ○ 休日当番医制事業・夜間救急当番医制事業の受託 ○ 住民への適正受診の啓発 ○ 認知症サポート医養成研修へ受講者推薦 ○ 大規模災害や感染症発生時の関係機関同士の密な連携及び情報共有の強化 ○ 災害医療コーディネーターの推薦 ○ 災害医療訓練への参加 ○ 関係機関会議への出席 ○ 病院群輪番制病院事業への協力 ○ 宮城県北の隣接する郡市医師会との情報共有 <hr style="border-top: 1px dashed #000;"/> <p>【歯科医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一関市医療介護従事者修学資金貸付制度を活用した歯科衛生士の養成 	<p>【医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護学校運営 ○ 休日当番医制事業・夜間救急当番医制事業の受託 ○ 住民への適正受診の啓発 ○ 認知症サポート医養成研修へ受講者推薦 ○ 大規模災害や感染症発生時の関係機関同士の密な連携及び情報共有の強化 ○ 災害医療コーディネーターの推薦 ○ 災害医療訓練への参加 ○ 宮城県北の隣接する郡市医師会との情報共有 ○ 関係機関会議への出席 ○ 病院群輪番制病院事業への協力 <hr style="border-top: 1px dashed #000;"/> <p>【歯科医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記活動の継続推進

圏域の 重点取組	現状及び課題	課題への対応のために 想定される取組	R4年度における取組状況	R5年度における取組状況及び予定																		
	<p>○ 医療機関等の協力により、休日当番医制事業、夜間救急当番医制事業、二次救急病院群輪番体制及びこども救急相談電話が適切に運用されるよう、今後も継続して取り組むことが必要です。</p> <p>○ 周産期医療について、医療機関の機能分担と連携のもと、分娩リスクに応じた適切な医療提供の確保に努めることが必要です。</p> <p>○ 在宅医療提供体制と地域包括ケアシステムを充実することが必要です。</p> <p>○ がんになくても安心して暮らせる地域づくりのために、関係機関の取組を促進することが必要です。</p> <p>○ 認知症の人とその家族への支援を充実することが必要です。</p> <p>○ 大規模な災害が発生したり、新興感染症等（エボラ出血熱、MERS、新型インフルエンザ等）が大流行すると、通常の診療能力を超えた</p>	<p>議するため、医療関係者等を交えた「両磐保健医療圏の地域医療を守る懇談会（圏域連携会議・地域医療構想調整会議）」を開催します。</p> <p>○ 保健所は、地域医療構想の実現に向けて、医療関係機関の主体的な取組の参考となる情報提供などにより支援を行います。</p> <p>○ 医療関係機関及び行政機関は、住民の地域医療への理解を深め、医療機能の役割分担に応じた適正受診の普及を図ります。</p> <p>○ 保健所は、医療関係機関と連携しながら、救急医療、周産期医療及び小児医療の提供体制の維持確保に努めます。</p> <p>○ 医療関係機関及び行政機関は、在宅医療に関する住民の理解を深めながら、在宅医療を担う医療機関の機能と訪問看護などの充実を図ります。</p> <p>○ 医療関係機関、介護関係機関及び行政機関は、地域包括ケアシステム構築のため、多職種が協働できる体制づくり及び人材育成などを進めます。</p> <p>○ 医療関係機関及び行政機関は、住民の認知症への理解を促進するとともに、認知症の人とその家族への支援体制の充実を図ります。</p> <p>○ 保健所は、災害医療コーディネ</p>	<p>○ 在宅歯科衛生士の復職支援（岩手県歯科医師会）</p> <p>○ 医科歯科連携、医療と介護の連携推進</p> <p>○ 病院栄養サポートチームへの参加</p> <p>○ 家庭訪問歯科診療の推進</p> <p>○ 大規模災害時の歯科医療の確保</p> <p>○ がん診療医科歯科連携の推進</p> <hr/> <p>【薬剤師会】</p> <p>○ がん患者とその家族のために IZAK の会議、研修会に参加し、技術・知識の向上を目指し研修を受講する</p> <p>○ 認知症患者の家族の方への支援を充実 保険薬局での服薬指導時に相談を随時行う。</p> <p>○ 一関市医師会、一関歯科医師会、一関薬剤師会（三師会）は一関市、平泉町との災害協定を結んでいるために、発生時に対応できるよう訓練など実施する。</p> <p>○ 災害医療訓練への参加</p> <p>○ 災害時の医薬品の確保</p> <p>○ 薬と健康の週間（10/17～23） 医薬品を正しく使用することの大切さ、薬剤師の果たす役割の大切さを多くの方に知ってもらいたい。そのためにポスター・パンフレットを使用し啓発する。 一関FMあすもを利用し放送する。</p> <p>○ いちのせきシェイクアウト訓練参加、連絡網訓練の開催 （電話及びメールにより災害状況を確認する訓練）</p> <p><参加施設></p> <table border="0"> <tr><td>・保険薬局（医薬品販売業者含む）</td><td>59</td></tr> <tr><td>・病院</td><td>10</td></tr> <tr><td>・医薬品卸</td><td>3</td></tr> </table> <hr/> <p>【看護協会】</p> <p>○ ふれあい看護体験、サマーセミナー等の開催 ⇒各施設で実施していく</p> <p>○ 「高齢者施設への出前研修」企画 「転ばぬ先のフットケア 明日からできる小さな一歩」 ⇒9月に予定していたが、新型コロナ感染防止のため中止</p> <p>○ 地域保健師、助産師、看護師を対象とした研修会の企画 →人と暮らしに出会う聞き書き ⇒11月26日に行う予定であったが、講師の都合で中止</p> <hr/> <p>【一関市】</p> <p>○ がんの治療に伴い、医療用補正具を必要とする方を対象に、医療用補正具購入費の一部助成を行う。</p> <table border="0"> <tr><td>・がん患者医療用補正具助成事業</td><td></td></tr> <tr><td>補助金交付件数</td><td>医療用ウィッグ 36件</td></tr> <tr><td></td><td>乳房補正具 1件</td></tr> </table>	・保険薬局（医薬品販売業者含む）	59	・病院	10	・医薬品卸	3	・がん患者医療用補正具助成事業		補助金交付件数	医療用ウィッグ 36件		乳房補正具 1件	<hr/> <p>【薬剤師会】</p> <p>○ がん患者とその家族のために IZAK の会議、研修会に参加し、技術・知識の向上を目指し研修を受講する</p> <p>○ 認知症患者の家族の方への支援を充実 保険薬局での服薬指導時に相談を随時行う。</p> <p>○ 薬と健康の週間（10/17～23） 医薬品を正しく使用することの大切さ、薬剤師の果たす役割の大切さを多くの方に知ってもらいたい。そのためにポスター・パンフレットを使用し啓発する。 一関FMあすもを利用し放送する。</p> <p>○ 災害医療訓練への参加及び災害時の医薬品の確保（三師会は一関市、平泉町との災害協定を結んでいる。）</p> <p>○ いちのせきシェイクアウト訓練参加、連絡網訓練の開催 （電話及びメールにより災害状況を確認する訓練）</p> <hr/> <p>【看護協会】</p> <p>○ 高齢者施設への出前講座（R5年10月予定） 講師：磐井病院感染管理認定看護師 行先：関生園</p> <hr/> <p>【一関市】</p> <p>○ がんの治療に伴い、医療用補正具を必要とする方を対象に、医療用補正具購入費の一部助成を行う。</p> <table border="0"> <tr><td>・がん患者医療用補正具助成事業</td><td></td></tr> <tr><td>○ 医療体制（へき地含む）</td><td></td></tr> <tr><td>・医師修学資金貸付事業</td><td></td></tr> </table>	・がん患者医療用補正具助成事業		○ 医療体制（へき地含む）		・医師修学資金貸付事業	
・保険薬局（医薬品販売業者含む）	59																					
・病院	10																					
・医薬品卸	3																					
・がん患者医療用補正具助成事業																						
補助金交付件数	医療用ウィッグ 36件																					
	乳房補正具 1件																					
・がん患者医療用補正具助成事業																						
○ 医療体制（へき地含む）																						
・医師修学資金貸付事業																						

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R4年度における取組状況	R5年度における取組状況及び予定
	<p>負傷者(患者)が同時に多く発生し、これによる社会や経済の混乱が懸念されます。</p> <p>○ へき地での医療を維持していくことが必要です。</p> <p>○ 当圏域は宮城県に隣接しており、相互に県境を越えて受診する患者(救急患者を含む。)が多い状況にあります。</p>	<p>一ターと連携し、災害時の支援体制の確保を図るため、会議開催及び災害医療訓練を実施するほか、新興感染症などに対応する体制を整備するとともに、実地訓練を実施します。</p> <p>○ 医療関係機関及び行政機関は、へき地医療を維持していくための取組を推進します。</p>	<p>○ 医療体制(へき地含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師修学資金貸付事業 ・医療介護従事者修学資金貸付事業(助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士、介護福祉士) ・地域医療を守る支援事業 市内の中高生を対象とした医療職セミナー等の開催(保健所との共催) ・臨床研修医研究支援事業 市内医療機関に勤務する臨床研修医に係る研究及び研修経費に対する支援 ・両磐保健医療圏における県要望 県立病院医療体制の充実(医師の配置、増員等) 奨学金養成医師の適正な配置の要請(医師の配置) <p>○ 救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日当番医制運営事業 実施範囲：一関市、平泉町 診療時間：午前9時～午後5時 輪番参加医療機関： (西地区)内科23医療機関、外科14医療機関 (東地区)16医療機関による輪番制 診療日数： (西地区)内科76日、外科71日 (東地区)72日 ・夜間救急医療対策事業 実施範囲：一関市、平泉町 診療時間：午後6時～午後8時(休日を除く月～金) 参加医療機関： (西地区)20医療機関 (東地区)14医療機関 診療日数：西・東地区 各241日 ・病院群輪番制病院事業 実施範囲：一関市、平泉町 診療時間：(休日)午前8時～午後6時 (夜間)午後6時～午前8時 (土曜日)午後1時～午後6時 参加病院：県立磐井病院、県立千厩病院、岩手病院、一関病院、西城病院、昭和病院、ひがしやま病院(4～7月)、国保藤沢病院 計8病院 ・休日歯科応急診療運営事業 実施範囲：一関市、平泉町 実施機関：5/3～5、12/31～1/3 診療時間：午前9時方12時 診療日数：西・東地区 各7日間 ・市広報やホームページで休日当番医、夜間救急当番医を周知。 ・医療機関の適正受診に向け、「かかりつけ医ガイドブック」を転入世帯に配布。チラシを各種健診時などに配布。市広報に特集記事を掲載。 <p>○ 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時に妊娠中の健康管理等について、保健指導を実施 ・妊婦一般健康診査(14回分)受診票、産婦健康診査受診票(2回分)、子宮頸がん検診受 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療介護従事者修学資金貸付事業(助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士、介護福祉士) ・地域医療を守る支援事業 県立磐井病院、同千厩病院、国保藤沢病院などが共同で実施する総合診療医等の養成プログラムへの支援 市内の中高生を対象とした医療職セミナー等の開催(保健所との共催) ・臨床研修医研究支援事業 市内医療機関に勤務する臨床研修医に係る研究及び研修経費に対する支援 ・両磐保健医療圏における県要望 県立病院医療体制の充実(医師の配置、増員等) 奨学金養成医師の適正な配置の要請(医師の配置) <p>○ 救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日当番医制運営事業 ・夜間救急医療対策事業 ・病院群輪番制病院事業 ・休日歯科応急診療運営事業 ・市広報やホームページで休日当番医、夜間救急当番医を周知。 ・医療機関の適正受診に向けた普及啓発(各種健診時などでチラシなど啓発資材の配布、「かかりつけ医ガイドブック」の転入世帯への配布、市広報へ記事掲載) <p>○ 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜在助産師の復職支援として研修参加に要する旅費の補助を実施 ・妊娠届出時に妊娠中の健康管理等について、保健指導を実施 ・妊婦一般健康診査(14回分)受診票、産婦健康診査受診票(2回分)、子宮頸がん検診受診票の交付 ・岩手県周産期医療情報連携ネットワークの活用 <p>○ 多職種協働による効果的な介護予防</p>

圏域の 重点取組	現状及び課題	課題への対応のために 想定される取組	R4年度における取組状況	R5年度における取組状況及び予定
			<p>診票の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県周産期医療情報連携ネットワークの活用 <p>○ 多職種協働による効果的な介護予防</p> <p>【広域行政組合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の開催 個別地域ケア会議 53 回、 日常生活圏域地域ケア会議 15 回 市町村レベル会議 2 回 自立支援型地域ケア会議 3 回 ケアマネジメント検証委員会 5 回 ・包括的・継続的ケアマネジメント研修会 年 2 回 ・認知症初期集中支援チーム員会議 東西各地域年 6 回 <p>○ 在宅医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一関市医療と介護の連携連絡会及び幹事会 各 1 回 ・在宅医療・介護連携市民フォーラム 1 回 (3/26) ・一関市医療と介護の連携連絡会研修会等 ⇒ 未実施 ・在宅医療に係る情報交換会「はじめてのケアカフェ」 ⇒ 中止 ・おきがる出前講座の開催 3 回 参加人数 65 人 ・医療と介護の連携マニュアルのうち、退院シートの様式を追加（従来様式と併用） ・市広報を活用した情報発信 市広報への「医療と介護の窓」掲載 12 回 <p>○ 認知症支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業 認知症高齢者等が徘徊により行方不明となった際の早期発見及び保護や、身元不明者を保護した際の身元特定を行うにあたり、あらかじめ高齢者等の情報を把握し登録しておくとともに、関係機関相互の連絡体制を構築し、高齢者等の生命・身体の安全の確保とその家族等への支援を図った。 ※登録者数 107 人（令和 5 年 3 月 31 日現在） ・認知症サポーターの養成 認知症の正しい理解や地域の見守り等を促進するため、住民、職域、学校などで認知症サポーター養成講座の開催を支援し、認知症サポーターの養成に努めた。 ※開催回数 20 回、養成者数 742 人 ・認知症ケアパスの作成・普及 平成 27 年度に作成した認知症ケアパスの内容を改定し、認知症の状態に応じて受けられるサービスや相談機関など、適切なケアの流れについて、市民や医療・介護関係者に対して普及を図った。 ※令和元年度にケアパス冊子版を、令和 2 年度に概要版をそれぞれ改訂した。 <p>○ 災害時における医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両磐地域災害医療対策連絡会議 ⇒ 未開催 ・両磐地域災害医療（情報収集・伝達）訓練 ⇒ 未開催 <p>○ 県境を越えた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県南、宮城県北の 4 市町連携 ⇒ 未実施 	<p>【広域行政組合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の開催 個別地域ケア会議、日常生活圏域地域ケア会議 市町村レベル会議、ケアマネジメント検証委員会 自立支援型地域ケア会議 ・包括的・継続的ケアマネジメント研修会 ・認知症初期集中支援チーム員会議 東西各地域年 6 回 <p>○ 在宅医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一関市医療と介護の連携連絡会及び幹事会の開催 ・在宅医療・介護連携市民フォーラムの開催 ・一関市医療と介護の連携連絡会研修会等の開催 ・在宅医療に係る情報交換会「はじめてのケアカフェ」の開催 ・おきがる出前講座の開催 ・医療と介護の連携マニュアル（情報共有シート[くらしのシート・退院シート]）の活用促進の啓発 ・市広報を活用した情報発信 市広報への「医療と介護の窓」掲載 <p>○ 認知症支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業 認知症高齢者等が徘徊により行方不明となった際の早期発見及び保護や、身元不明者を保護した際の身元特定を行うにあたり、あらかじめ高齢者等の情報を把握し登録しておくとともに、関係機関相互の連絡体制を構築し、高齢者等の生命・身体の安全の確保とその家族等への支援を図る。 ・認知症サポーターの養成 認知症の正しい理解や地域の見守り等を促進するため、住民、職域、学校などで認知症サポーター養成講座の開催を支援し、認知症サポーターの養成に努める。 ・認知症ケアパスの作成・普及 認知症の状態に応じて受けられるサービスや相談機関など、適切なケアの流れに、市民や医療・介護関係者に対して普及を図る。 <p>○ 災害時における医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両磐地域災害医療対策連絡会議への出席 ・両磐地域災害医療（情報収集・伝達）訓練への参加（両磐地域災害対策会議（一関保健所主管）主催） <p>○ 県境を越えた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県南、宮城県北の 4 市町連携 宮城県栗原市、登米市、平泉町、一関市における地域医療に関する情報共有等

圏域の 重点取組	現状及び課題	課題への対応のために 想定される取組	R4年度における取組状況	R5年度における取組状況及び予定
			<p>【平泉町】 《休日当番医等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町広報、ホームページで休日当番医、夜間救急当番医を周知。 ○ 広報ひらいずみ 12月号に地域医療に関する記事掲載 ○ 幼児健診の際、事故防止等に関するリーフレットを配布。延 94 人 ○ 適切な受診行動に関するチラシ全戸配布、ポケットティッシュ作成、配布 <p>《周産期医療》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 妊娠届出時、妊娠中の健康管理及び栄養について保健指導を実施。実施数 28 人 ○ 妊婦一般健康診査 14 回分と子宮頸がん検診受診票を交付 交付数 28 人 ○ 岩手県周産期医療情報連携ネットワークの活用 ○ 県立病院との周産期医療に関する会議に出席（1 回） ○ 妊産婦交通費助成券交付事業実施 交付数 26 人 利用人数 9 人 <p>《在宅医療の体制》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅医療介護連携推進会議（年 1 回） ○ 一関市が開催する一関市医療と介護の連携連絡会への出席 ○ 地域ケア推進会議開催 2 回 参加人数：延 41 人 ○ 在宅医療介護に関する講座の開催 3 回 参加者数：延 47 人 ○ 在宅医療介護連携事業オンライン講演会の開催 1 回 参加者数：<u>25</u> 人 <p>《認知症支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症カフェの開催（社会福祉協議会へ委託月 1 回実施） 回数 10 回 参加者 111 人 ○ 認知症サポーター養成講座 10 回 参加人数 211 人 ○ 認知症高齢者見守りステッカー配布 配布数：1 人 徘徊高齢者 SOS ネットワーク登録者数 12 人 <hr style="border-top: 1px dashed #000;"/> <p>【保健所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 将来の医療従事者の育成を図るため、管内の中高生を対象にセミナーを開催 中学生：7/21 web 開催 ○ 地域医療構想を実現するため、圏域連携会議を书面開催 ○ 一関医療と介護の連携連絡会に参画 ○ 災害医療コーディネーターと連携し、災害時の支援体制の確保を図るため、災害医療通信確認訓練を実施 	<p>【平泉町】 《地域医療に関する普及啓発》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町広報、ホームページで休日当番医、夜間救急当番医を周知。 ○ 幼児健診の際、事故防止等に関するリーフレットを配布。 ○ 適切な受診行動に関するチラシ、ポケットティッシュ配布等地域医療の普及啓発を実施。（随時） <p>《周産期医療》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 妊娠届出時、妊娠中の健康管理及び栄養について保健指導を実施。 ○ 妊婦一般健康診査 14 回分と子宮頸がん検診受診票を交付 ○ 岩手県周産期医療情報連携ネットワークの活用 ○ 県立病院との周産期医療に関する会議に出席 ○ 妊産婦交通費助成券交付事業実施 <p>《在宅医療の体制》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅医療介護連携推進会議の開催（年 1 回） ○ 一関市が開催する一関市医療と介護の連携連絡会への出席 ○ 在宅医療介護連携講演会の開催（年 1 回 12 月予定） ○ 地域ケア推進会議開催（10 月、3 月予定） ○ 在宅医療介護に関する講座の開催（12 月～3 月 3 回予定） <p>《認知症支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症カフェの開催（町と地域包括支援センターひらいずみとの共催） ○ 認知症サポーター養成講座 ○ 世界アルツハイマー月間に合わせた普及啓発実施。（9 月予定 学習交流施設エピカ） ○ 認知症高齢者見守りステッカー配布 （徘徊高齢者 SOS ネットワークへの登録） <hr style="border-top: 1px dashed #000;"/> <p>【保健所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 将来の医療従事者の育成を図るため、管内の中高生を対象にセミナーを開催 附属中学校：9/30 その他の中学校：7/28 高校生：7/29 8/3 ○ 地域医療構想を実現するため、圏域連携会議を開催予定 ○ 一関医療と介護の連携連絡会に参画 ○ 災害医療コーディネーターと連携し、災害時の支援体制の確保を図るため、会議開催及び災害医療訓練を実施予定